

コード	20301
作成年度	25年度

基本事業評価表

基本事業名称	身近な公園整備
--------	---------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	こころを癒す公園・広場・緑地の整備

課コード	119	関係課名	土木課
主管課名	建築課		

基本事業の目的

公園や広場、緑地は、住民の憩いやスポーツ・レクレーションの場としてだけでなく、コミュニティや防災対策上の機能としても重要な役割を担っている。住民が遊び、憩い、交流できる場として公園整備を進め、快適で、自然環境と調和した魅力ある場を創出し、潤いのある都市空間を形成することを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	一人あたりの公園面積（都市公園）	成果指標名称 2	
成果指標の積算根拠	都市公園面積÷都市計画区域内人口	成果指標の積算根拠	
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	
目標達成数値	10㎡	目標達成数値	

年		度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
成果指標 1	目標 A	単位	㎡	7	10	10	10	10
	実績 B		㎡	8	8	8	8	
	達成率 B/A		%	114.0	80.0	80.0	80.0	
成果指標 2	目標 A	単位						
	実績 B							
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	本町の都市計画区域内一人当たりの公園面積は8㎡（平成23年3月末）。都市公園法施行令による面積の標準は、区域内で10㎡以上、市街地で5㎡以上である。青方地区まちづくり交付金事業による新たな公園整備（3公園）のほか、毎年的人口減少により、公園面積数値は高くなる傾向にあるが、一部公園施設の経年経過による老朽化が顕著となっている。
	課題	現有の都市公園施設の老朽化については、厳しい財政状況下、維持補修若しくは撤去での対応となっている。都市公園の新たな整備については都市計画区域内に限られており、都市計画区域の変更はそのメリット・デメリットも勘案し、住民ニーズに対応したものでなければならない。都市計画区域外での整備要望についての対応は難しい状況にある。
	改善	厳しい財政状況を勘案し、利用頻度の高い施設への集中投資、徹底したコスト削減を行うことで事業効果の早期発現に努めます。そのために、都市公園長寿命化計画を策定し、公園個々に今後の整備等方針を定め、年度計画で取り組んでいく必要がある。

2次評価	公園の維持・管理は、遊具等の管理不備による事故防止に努め適正に行うこと。また、住民の憩いの場、快適空間の創造、自然と調和した魅力ある場の創造に向け整備方針を定めること。なお、都市計画区域外においては、関係各課と調整・協議しながら対応すること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成24年度 直接事業費	評価の方向性
1	203010201	新上五島町ふれあい公園整備事業	土木課	10,229千円	(途中) このまま事業を継続
2	203010102	青方ふれあい公園排水事業	建築課	414千円	(事後) 平成24年度で事業完了
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				10,643千円	